

Q 22年度当初予算編成の

指針は

A 事務事業評価に基づき 効率化に努めたい

問 今年の衆議院総選挙において民主党を中心とする政権が誕生し、あらゆる予算の見直しをする国家戦略室が設けられた。

本町も、長引く不況の中で税収が伸び悩み、厳しい財政ではあるが、自立の町として、22年度の予算編成に当たり、町長の方針を伺いたい。まず少子高齢化対策について。

町長 今年10月から中学生の医療費無料化を実施したところであり、これらの施策を含め、さらに少子高齢化対策を継続して取り組んでいきたい。

問 農商工業の振興と地域活性化の取り組みは。

町長 事務事業評価に基づく改善内容を予算編成に反映したい。また、現在実施している緊急雇用基金事業

等により引き続き進めていきたい。

問 行政の効率化・スリム化を図る事業仕分けの取り組みは。

町長 事業仕分けの方法でなく、現在町で進めている行財政改革の事務事業評価により、効率化に努めていきたい。



正月の大雪で早朝から除雪車が出動（石母田地内）

Q 中山間地域の除雪対策 は万全か

A 積雪20センチ以上が 除雪の目安となる

問 地球温暖化により降雪は少なくなったが、長期予報によると、今年の冬は雪が多く降ると言われている。備えあれば憂いなしというが、除雪対策に万全を

期してもらいたい。特に山間部の学校通学路と、地域の生活道路について。

町長 毎年、町内建設事業者と分担地区ごとに契約を結び、概ね積雪20センチ

メートルを目安に除雪を行っている。

今年も、通勤・通学路で交通量の多い幹線道路を優先的に行い、町内全域にわたり、町民の皆さまの足の確保に努めたい。

また、徳江大橋や急傾斜面の道路には、融雪・凍結防止剤散布で対処する。



高橋豊壽議員